科目名	日本経済論　　Japanese Economy						
科目担当者	山梨 顕友　　YAMANASHI Akitomo						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 法学部・法律学科［専門教育科目　関連科目］					ディプロマポリシーとの関連	(1) (4)
授業の概要	日本社会の現在の情勢や過去の経験についての情報は身近にあふれていますが、この授業ではそれらを検討してみようと思います。日本経済の特質がどこにあるのかを知った上で、経済環境が今後どのように変化して行くのか予測するために役立てましょう。受講者にはさまざまな論点について自分で考えた上で、意見をレポートとして提出してもらいます。						
授業の到達目標	①　日本経済の現状とこれまでのあゆみを知り、その特質について理解する。 ②　さまざまな日本の経済問題に対してどのような対策が施されているかを知り、それがどのような帰結をもたらすのかを考えることができる。 ③　経済問題に関する自分の考えを論理的に表現することができる。						

授業計画・内容		
	1	経済分析の基礎
	2	工業化の経緯
	3	戦前戦後の経済
	4	バブル崩壊以降
	5	日本の地勢
	6	輸出産業と輸入産業
	7	労働市場
	8	資産運用
	9	社会資本
	10	社会保障制度
	11	少子化と人口減少
	12	大都市への人口移動
	13	財政政策と債務増加
	14	財政金融政策
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	日頃から報道に関心を持ち、さまざまな事件がどのような影響を社会に及ぼしているのか考えてみましょう。(2 時間程度)
授業外学修 (事後学修)	授業で取り上げられたり取り上げられなかったりした論点の中で、関心を抱いた事柄について自分で調べて要点をレポートにまとめてください。（2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	レポート（数回）	100%	①、②、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	特になし。
参考文献	
その他	